

# 日本及び山喜農園の百合球根流通状況（参考）

（R1年6月10日付発行情勢報告をR1年7月16日に追加・修正）当社輸入状況（南半球産）+（NL産+FR産+B産）

及び14年産～18年産百合球根弊社出荷状況及び予定

（単位：1,000球）

	12月出庫 (南半球産)+(NL産+FR産+B産)	1月出庫	2月出庫	3月出庫	4月出庫	5月出庫	6月出庫
14年産	(5,277)+(397)	1,695	2,448	3,090	3,800	3,232	3,582
15年産	(5,451)+(672)	2,016	1,995	3,030	3,670	2,965	3,280
16年産	(4,663)+(462)	1,310	2,309	2,789	3,383	3,382	3,045
17年産	(4,332)+(570)	1,140	1,962	2,808	3,133	2,734	3,442
18年産	(3,578)+(0)	1,344	1,835	2,308	4,383	2,202	2,908
19年産							

14年～18年南半球産球根の出庫数は掘り取り年の9月～翌年12月末日までの合計出庫数です。

19年の南半球産の出庫数は入荷予定数。

	7月出庫	8月出庫	9月出庫	10月出庫	11月出庫	12月出庫	当社輸入量	
							合計1	合計2
14年産	4,107	2,832	971	328	171	63	32,001	32,179
15年産	4,102	2,151	1,488	459	293	115	31,785	30,992
16年産	4,159	2,834	1,433	446	354	115	30,748	30,418
17年産	3,417	2,637	1,404	538	395	97	28,665	27,910
18年産								
19年産								

（単位：1,000球）

参考	※日本の百合球根輸入量(推定)	
	※合計計算式1 (南半球産)+(NL産+FR産+B産)	※合計計算式2
14年産	(25,686)+(95,112) = 120,798	120,691
15年産	(25,579)+(94,951) = 120,530	119,381
16年産	(24,430)+(91,199) = 115,629	114,952
17年産	(23,753)+(86,834) = 110,587	108,161
18年産	(21,327)+(69,697) =	
19年産		

（単位：1,000本）

※日本の百合切花輸入量(推定)	
14年	8,022
15年	6,697
16年	6,328
17年	6,433
18年	5,740
19年	796

※日本のオランダ産（NL産）・フランス産（FR産）・ベルギー産（B産）百合球根輸入量は、植物防疫統計より参照（掘り取り年の12月～翌年11月までの入荷数）。

※18年産（NL産+FR産+B産）の輸入球数は、掘り取り年6月末までの植検対象球数。（昨年同期間比4.0%減、2,892,301球減少）（7月16日調べ）

※日本の南半球産の輸入量は植物防疫統計より参照（掘り取り年と入荷年同一）

2019年産南半球産百合球根の輸入予定球数は、N.Z産：15,554,775球、C.H産：5,496,325球=20,049,500球。（H31.4月15日調査）（H30.12月末まで植防値：21,327,000球）

O.H・O.T：20,049,500球（2.4%減少）、A.H・L.A：1,001,600球（26.7%増加）（18年産オランダ産A.H・L.Aの確保数が激減している為。）2019年産の増減とは、前年2018年産輸出球数との比較。（H31.1月輸出業者からの聞き取り調査数との比較。）

A.H・L.Aでは、南半球産の増加では埋めきれないほど18年産オランダ産の確保数が減少している。

O.H・O.Tについては、今後の切り花市況に注目していきたいところです。（前年実輸入数より約500,000球少なめの確保量となっている。）

※合計計算式1：同一掘り取り年のNL産+FR産+B産+南半球産の輸入合計数

※月次の入荷量の動きは、当社Home pageに別途記載。

※合計計算式2：NL産+FR産+B産+翌年の南半球産の合計数

※日本の百合切花輸入量は植物防疫統計より参照（各年1月～12月までの植検対象本数）。

※18年の日本の百合切花輸入本数は6月末までの植検対象本数。（昨年同期間比45.3%減、659,403本減少）（7月16日調べ）

※各々の統計は速報値の為変更修正が入る場合がある。

※月次の入荷量の動きは、当社Home pageに別途記載。